

中学 第1学年 英語科 学習指導案

期 日：令和5年12月18日

時 間：第2校時

対 象：第1学年B組26名

学校名：清心中学校

授業者：河本 政浩

1 単元（題材）名 “The Four “Countries of the U.K.”

(New Horizon English Course, Book 1 : 東京書籍)

2 単元（題材）の目標

(1) 英国の4つの国についての説明を聞いて、必要な情報や要点を捉えることができる。

【思考・判断・表現】（「聞くこと」）

(2) 英国の4つの国についての説明を聞いて得た情報を整理して、まとまりを意識して英文を書くことができる。

【思考・判断・表現】（「書くこと」）

(3) 映像を見て興味関心をもった内容について、主体的に学習を深めようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

3 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・英語の語順についてのきまりを理解している。 ・英国の4つの国についての説明を聞いて、必要な情報や概要を捉えたり、それらを整理して書いたりする技能を身に付けている。	・英国の4つの国についての説明を聞いて必要な情報や概要を聞き取っている。 ・聞き取った情報を整理して、まとまりを意識して書いている。	・英国の4つの国についての説明を聞いて必要な情報や概要を聞き取ろうとしている。 ・聞き取った情報を整理して、まとまりを意識して書こうとしている。

4 指導観

(1)単元（題材）観

本題材は英国の4つの「国」を説明した動画であり、英国の魅力的な風景の映像が多く含まれている。ほとんどの生徒が英国に行った経験がないため、動画で紹介されている風景や異文化に興味を持って活動に取り組んでくれるものと考えられる。動画を見て得た情報を整理して、中学入学以来学習してきた知識・技能を用いてまとまりのある文章を書く活動としたい。

(2)教材観

本教材は、英国の魅力的な場所や文化を中学1年生にも理解しやすい語彙を使って説明した資料映像である。現段階の生徒にはややチャレンジングな教材ではあるが、映像を手掛かりにして細部にこだわりすぎることなく全体の内容をつかむことを意識させたい。

また、3学期に学習する Unit10 では、登場人物のクック先生が冬休みを利用して英国に行くという場面設定になっているため、その動機付けにもしたい。

(3)生徒観

本学級の生徒は、2年間の「外国語活動」と2年間の「英語」で4年間英語に触れている。旧学習指導要領のもとで学習してきた生徒と比べて、英語を聞いたり話したりすることに関するコミュニケーションを図る素地はある程度育成されている感じた。一方で、入学時のアンケートによると約3分の2以上の生徒がすでにいわゆる「英語ざらい」になっていた。そこで、中学での英語学習開始以来、文字の導入をできる限り遅らせ、小学校での学習内容を思い出させながら中学での学習に円滑に移行できるようにさまざまな工夫をしてきた。その結果、現在は、「英語ざらい」であった生徒のほとんどが英語の学習を「楽しい」と感じるようになっている。とは言っても、英単語や英文を正確に書くことに関してはまだまだ苦手意識を持っている生徒が多いため、「英語学習」への興味・関心を維持しながら、生徒が苦手意識をもちやすい「読むこと」や「書くこと」の指導を継続していきたい。

5 単元（題材）の指導計画と評価計画（全2時間扱い）

時	★目標 ○学習内容 ・学習活動	■評価規準（評価方法）
第1時	★映像資料を見て聞き取った情報を整理して、まとまりのある文章を書くことができる。	
	○外国のお盆に似た祭り（行事）についての映像を見て、学んだことを英語でまとめる。 ・映像を見て、メモを取る。（日本語と英語） ・聞き取った情報を整理して、英語でまとめる。 ・書いた英文を、全体で発表する。	■正しい英文を使って、まとまりのある文章が書けている。 【思考・判断・表現】（ワークシート）
第2時 （本時）	★資料映像を見て聞き取った情報を整理して、まとまりのある文章を書くことができる。	
	○英国の4つの国についての映像を見て、学んだことを英語でまとめる。 ・映像を見て、メモを取る。（日本語と英語） ・聞き取った情報を整理して、英語でまとめる。 ・書いた英文を、全体で発表する。	■正しい英文を使って、まとまりのある文章が書けている。 【思考・判断・表現】（ワークシート）

6 指導に当たって

- (1) 聞き取って得た情報を整理して、文と文とのつながり（結束性）と全体のまとまり（一貫性）のある文章を書く。
(ロジカルシンキング)
- (2) 映像資料を見て、興味・関心を持ったことやさらに深く学習してみたいことを自由に述べる。
(ラテラルシンキング)
- (3) 他人の作品を聞いたり読んだりして、それと自分の作品を比較して考えを広げたり深めたりする。
(クリティカルシンキング)

7 本時（全2時間中の2時間目）

(1)本時の目標

- ・資料映像を見て聞き取った情報を整理して、まとまりのある文章を書くことができる。【思考・判断・表現】

(2)本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	・指導上の留意点	■評価規準（評価方法）
導入（10分）	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつをする。 ○英語の歌を歌う。 ○Small Talk をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌を歌うことにより、英語学習の雰囲気づくりをする。 ・やり取りの後に簡単なレポートをさせることで、目的意識を持って活動に取り組むようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■やり取りの内容を簡潔にまとめて発表している。 【思・判・表】（発表）
展開（35分）	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動を知る。 ・教師による口頭導入を聞く。 		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて：英国の4つの国についての映像を見て、学んだことを英語でまとめよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・資料映像を見る（1回目）。 ・情報共有をする。 ・映像資料を見る（2回目）。 ・情報共有をする。 ・教師に質問をする。 ・得た情報を元に英語でまとめる。 ・ピアチェックをする。 ・発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語字幕付で見せることにより情報をつかませ、次の活動の手掛かりにさせる。 ・互いの情報を共有することで、情報の量を増やさせる。 ・英語字幕付で見せることにより、1回目得た情報に相当する語句を聞き取らせる。 ・互いの情報を共有することで、情報の量を増やさせる。 ・教師とのやりとりを通して、足りない情報を補うことができるようにする。 ・英語の語順や内容のまとまりを意識して書くようにする。 ・机間指導をすることで、援助を必要とする生徒の手助けをする。 ・聞く人に分かりやすい音量・リズムで話すように留意させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■興味を持って映像を見ている。【態度】（観察） ■積極的に情報を得ようとしている。【態度】（発表） ■正しい英文を使って、まとまりのある文章が書けている。【思・判・表】（ワークシート）
まとめ（5分）	<ul style="list-style-type: none"> ○スクリプトを見ながら、音声を聞く。 ○あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目に聞き取れなかった部分に注意して聞くように留意させる。 	

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する生徒の姿の例

聞き取った情報を整理して、文と文のつながりを意識してまとまりのある文章を書いている。

The Four Countries of the U.K.

Class () No. () Name ()

The U.K.=

《メモ》 ※ビデオを見て学んだことをメモしよう。

メモ(日本語)	Notes (English)

The Four “Countries” of the U.K.

Do you know the official name of the U.K.? The official name is the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland. Why is the name so long? There are four areas in the U.K. These four areas are England, Wales, Scotland, and Northern Ireland. Each of them was originally a country or a part of another country before. So, even now, some people call them “countries.”

First is England. London is in England. This is Big Ben. London is a big city. There are a lot of people. Let's visit another city in England. This is Liverpool. Liverpool is famous for soccer. This soccer stadium is popular with soccer fans. It's also famous for music. Liverpool is the hometown of popular rock band, The Beatles. This is Liverpool John Lennon Airport. The member's name is in the airport name.

Next is Wales. Wales has a lot of castles. There are over 600 of them. We can enjoy these castles and the great views in Wales. This castle is wonderful inside. The garden is also beautiful. Look! There are peacocks, too. Each castle has its own history. Which castle do you want to visit?

Let's go to Scotland. Kilts are traditional clothing in Scotland. We can see many different kilts. The bagpipes are also a part of their traditional culture. They are musical instruments. Do you know this song? It comes from Scotland.

Last is Northern Ireland. Northern Ireland has a very unique place. This the Giant's Causeway. There are about 40,000 stones poles here. A lot of people come and enjoy the scenery. The stone poles continue for about 8 km. There is a legend. “A giant made this place.” What do you think?

There are many unique places and cultures in the U.K. Do you want to know more about these “countries”?

(注) official :公式の、正式の area:地域 originally:もともと castle:城
view:眺め、景色 peacock:クジャク clothing:衣装 musical instrument:楽器
scenery:景色 legend:伝説

イギリスの正式名称を知っていますか。正式名称は、「グレートブリテン及び北アイルランド連合王国」。どうしてこんなに名前が長いのでしょうか。イギリスには、4つの地域があります。この4つの地域とは、「イングランド」「ウェールズ」「スコットランド」「北アイルランド」。それぞれの地域は元々別の国や他の国の一部でした。それで、今でも「カントリー」と呼ばれることがあります。この4つの「カントリー」を見てみましょう。

まずは、イングランド。ロンドンはイングランドにあります。これはビッグベンです。ロンドンは大都市です。たくさんの方がいます。イングランドのほかの都市に行ってみましょう。こちらはリヴァプール。リヴァプールはサッカーで有名です。このサッカースタジアムは、サッカーファンに人気です。この都市は音楽でも有名です。リヴァプールは、有名なロックバンド、ビートルズの出身地なんです。ここはリヴァプール・ジョンレノン空港。バンドメンバーの名前が空港の名前に入っています。

次はウェールズです。ウェールズにはたくさんのお城があります。その数なんと、600以上。ウェールズではこれらの城や雄大な景色を楽しむことができます。この城の内部はすばらしいです。庭園もまた美しいです。見て下さい。クジャクもいます。どの城にもそれぞれの歴史があります。どの城に行ってみたいですか。

スコットランドを見てみましょう。キルトはスコットランドの伝統的な衣装です。さまざまなキルトがたくさん見られます。バグパイプもまた、彼らの伝統的な文化の一つです。バグパイプは楽器です。この曲を知っていますか。この曲は、スコットランド発祥なのです。

最後は北アイルランド。北アイルランドにはとても独特な場所があります。ジャイアンツ・コースウェイです。約4万もの石柱がこの場所にはあります。多くの人々がここに来て景色を楽しみます。石柱は8km続きます。伝説があります。「巨人がこの道を作った。」あなたはご存知ですか。

イギリスにはたくさんの文化や場所があるんですね。これらの地域のことをもっと知りたいですか。